



ちば炎の仲間

発行
 公益社団法人千葉県LPガス協会広報委員会
 〒260-0024 千葉市中央区中央港1-13-1
 TEL 043-246-1725
 FAX 043-243-6781
 E-mail : chibalpg@chibalpg.or.jp
 http://www.chibalpg.or.jp
毎月10日は保安の日

令和5年度第1回 定例支部長会開催！！

去る9月21日(木)午後1時30分より、公益社団法人千葉県LPガス協会第1回支部長会を、WEB併用にて開催しました。審議及び意見交換並びに報告の内容は下記の通りです。

議題1 千葉県LPガス料金負担軽減支援事業実施状況について (報告事項)

標記事業の申請者は、625件(内県内会員：525件、県内非会員：2件、県外：98件)であった等の報告がありました。

議題2 会費の見直しについて (報告・意見交換事項)

標記について、各支部での意見の状況を報告し、これらを基に会費の見直しについて意見交換を行いました。
 最終審議は、12月理事会の予定です。

議題3 令和5年度下期及び令和6年度協会事業運営について (審議事項)

【総務委員会】

- LPライフのWEB受付について
 LPガス保安共済事業団では、2年後を目途にWEB受付を検討することを受けて、全国LPガス協会にLPライフをWEB受付にするよう要望することとなりました。
- 会費の見直し(議題2のとおり)
- 収支相償の使い方
 前年度230万円公益事業で収支がプラスのため、本年度の公益事業に使用することとなりました。
- 災害協定について
 次の2項目を公明党へ政策要望しました。
 ・応急仮設住宅での協力(LPガス供給配管の設置、LPガス、コンロ、ストーブ等)と、災害時における炊き出しでの協力(LPガス、炊き出しセット、LPガス用発電機等)
 ・避難所等へのGHP設置及び普段からの働きかけ
- イベント事業(3支部ごとに持ち回りで開催)
 本年度は、松戸・野田・柏支部合同で11月4日(土)に柏の葉 T-SITEにて10:00~15:00の間で開催します。

【取引適正化委員会】

- 流通WGの報告
 7月24日に開催された第6回の報告がありました。

【保安委員会】

- 県指定保安講習会
 令和6年度はWEBがメインで開催します。
- 質量販売の進め方
 総会スローガンに掲げたように、積極的に推進する。
- 身分証…現在の申込者数は35名と報告しました。

【広報委員会】

広報誌を協会ホームページ掲載の「活動だより」と共に充実させ、時期が来れば紙媒体を廃止する。

【啓発事業研修】

令和5年10月13日(金)~14日(土)開催の「みらい市(橋本総業主催のイベント)」に参加しますので、参加希望の支部は10月6日(金)までにご連絡下さい。

議題4 支部交付金報告及び各支部保安啓発等報告依頼について (報告・依頼事項)

令和5年度の交付金等について報告するとともに、保安等啓発(防災訓練やイベント等での保安啓発、見回り見守り等)報告と政策要望及び税制改正要望の提出を依頼しました。

議題5 各種報告事項 (報告事項)

- 総務委員会報告
 千葉県高圧ガス保安大会協会長表彰について、受賞者を報告しました。
- 安全機器等調査報告 … 提出率は100%
- 令和5年度県指定保安講習会実施報告
 参加者は1,016名、前年度比38名増でした。
- 自主保安活動チェックシート集計結果
 … 提出率は100%
- 情報収集訓練提出状況報告
 … 提出率は78.5%

議題6 その他

テールゲートリフター操作の業務に係る特別教育について(審議事項)
 標記特別教育を当協会で開催することとなりました。

ウェイト販売(質量販売)の導入へ！

「ウェイト販売」(「Mass Sales」をあえて「Weight Sales」)

「質量販売緊急時対応講習」受講済み者には、これまでの質量販売と全く異なる販売ができます。ポイントは、次の5点です。

- ①当然、緊急時対応業務は無くなります。
- ②販売事業者の接続義務はありません。
- ③煩わしい容器の受け渡しもやり方によってなくなります。
- ④一回こっきりの取引ではなく、継続して固定客となりやすい。
- ⑤設備は消費者が準備します。
 (容器や消費設備管理は、所有者責任)

要するに30分規制がなく、接続義務もない、運搬作業もいらない、手間のかからないLPガスの販売という事です。

従って、容器や機器・配管の貸し出しが伴う質量販売と一線を画して商売を組み立てることが肝要です。

是非、積極的な導入をお願いしたいと思います。

高効率給湯器導入促進！

上記定例支部長会后、リンナイ(株)東関東支店の松木茂氏による、「高効率給湯器導入促進による家庭部門の省エネルギー推進事業補助金」を演目にした説明会を開催しました。この補助金は交付申請期間が2023年3月31日~予算上限に達するまで(遅くとも2023年12月31日まで)となっており、対象機器はエネファーム・ハイブリッド給湯器・エコキュートの3種類です。しかし、現状補助金として利用されているほとんどがエコキュートであり、この現状が続いてしまうと今後エネファーム・ハイブリッド給湯器が補助金の対象から外れてしまう可能性があります。そうするとLPガス事業の衰退にも繋がるため、ハイブリッド給湯器の補助金利用を積極的に行っていきましょう！！



千葉県LPガス料金負担軽減支援事業の実績報告書は、事業完了日(値引き完了日)から30日以内又は令和5年12月31日までのいずれか早い期日までに提出してください。



お知らせコーナー 千葉県防災危機管理部産業保安課 保安対策室



本県の液化石油ガス保安行政の推進につきましては、日頃から御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

高圧ガス保安活動促進週間について

高圧ガス保安活動促進週間は、高圧ガスに係る災害事故を防止し、保安意識の高揚を図ることを目的に経済産業省の主唱により昭和29年度から実施されております。

県では、関係事業所の防災意識の高揚や一般消費者等への啓発等を目的とした**高圧ガス保安活動促進週間の関連行事**を以下のとおり実施します。皆さまの御協力と御参加をよろしくお願いいたします。

なお、高圧ガス輸送車等防災訓練については、令和5年台風第13号の接近に伴う大雨の影響により中止としました。

1 千葉県高圧ガス保安大会

(1) 日 時

令和5年10月25日(水) 14時から

(2) 場 所

三井ガーデンホテル千葉 3階「平安」
千葉市中央区中央1-11-1 (TEL: 043-224-1131)

(3) 主 催

千葉県、公益社団法人千葉県LPガス協会、一般社団法人千葉県高圧ガス保安協会、
一般社団法人千葉県冷凍設備保安協会、千葉県高圧ガス流通保安協会、千葉県冷凍空調設備協会

(4) 表 彰

千葉県知事表彰、公益社団法人千葉県LPガス協会会長表彰、
一般社団法人千葉県高圧ガス保安協会会長表彰、一般社団法人千葉県冷凍設備保安協会会長表彰、千葉県高圧ガス流通保安協会会長表彰、千葉県冷凍空調設備協会会長表彰

2 空気呼吸器装着訓練

(1) 目 的

毒性ガスによる災害事故が発生した場合に、事業所の従業員が適切な防災活動を行えるよう、空気呼吸器の適確な装着と迅速な作業方法の習得を目的とする。

(2) 日 時

令和5年10月30日(月) 13時15分から

(3) 場 所

千葉県消防学校
(市原市菊間783-1)

(4) 主 催

千葉県、千葉県高圧ガス地域防災協議会

(5) 訓練方法

ア 想定

液化塩素50キログラム入り容器のバルブが損傷し、塩素ガスが噴出したため、空気呼吸器を装着して容器に防災キャップを取付け、塩素ガスの漏えいを防止した後、負傷者を発見し、担架で搬送する。

イ 内容

1チーム2名で行い、保安帽、革手袋の装着状態でスタートして、空気呼吸器を装着し、トンネルをくぐり、リング、防災工具を使用して容器に防災キャップを取付けた後、負傷者を担架で運ぶ。

経済産業省 関東東北産業保安監督部長表彰 受賞！！

令和5年7月28日(金)に関東高圧ガス保安団体連合会主催、経済産業省関東東北産業保安監督部後援による第38回関東高圧ガス保安大会が東京ガーデンパレス(東京都文京区湯島1-7-5)で開催されました。

当日は午後1時30分から経済産業省関東東北産業保安監督部長表彰と、関東高圧ガス保安団体連合会会長表彰が行われ、午後3時30分より大森正雄氏(気象庁 東京管区気象台 気象防災部 地域防災推進課 地球温暖化情報官)から、「気象の現状と将来予測について」との演題で講演が催され、盛大裏に大会は終了しました。

当協会からは、経済産業省関東東北産業保安監督部長表彰の保安功労者として池田愛一郎氏(株池田商店:木更津支部)と

鶴岡秀男氏(株うの丸住設:山武支部)が、関東高圧ガス保安団体連合会会長表彰の優良販売業者として(株エネサンス関東 市原事業所(市原支部)が、受賞されました。

受賞誠にありがとうございます。

(株うの丸住設
【鶴岡秀男氏】



(株池田商店

【池田愛一郎氏】



(株エネサンス関東

市原事業所

【松田龍馬氏】

「雑学探求オタクの独り言」

～ 情報収集から見える千葉の地震 II ～

公益社団法人 千葉県 LP ガス協会 防災アドバイザー 荒尾 博
一級建築士・防災まちづくり統括設計建築士

※前回からの続き！(第252回参照)

5. 延宝地震の再来は

延宝房総沖地震の再来はあるかという過去発生した周期から必ず発生することは間違いありません。今年で350年弱過ぎていることを考えると危険性は認識し対策を考慮する必要があると思います。とにかく東日本大震災では鍵盤の一番南にある房総沖は動かなかったことは事実です。これには、もう一つのフィリピン海プレートが関係しているとも言われていますが、この傾向を単純に比較できないとは言え地震史でみると、1611年慶長三陸地震、1616年宮城沖地震が発生した約50年余りに後に延宝房総沖地震(1677年)が発生していたことを考えると注意が必要です。

6. 関東大震災の再来は？

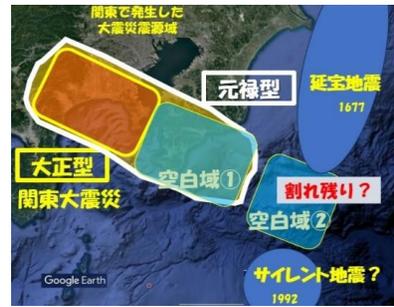
コロナパンデミックで100年前のスペイン風邪パンデミックも引き合いに出され、奇しくも同時期に関東大震災が発生したこともあって切迫しているという話もあります。関連して神奈川西部地震は69年周期説と異常に短いのは[活断層型]ではなく[活断裂型]の説があり、実際には1633、1703、1782、1853、1923年に発生しています。周期説から見てもすでに100年過ぎています。北伊豆地震(1930年)M7.3の影響で間隔が伸びている説もあります。

神奈川西部地震の中に連動し千葉県まで被害を及ぼしたのが関東大震災(1923年)と元禄大地震(1703年)です。そして、その差は単純に220年ですから最短でも2123±年ではないかと言われています。しかし、2つの巨大地震についても大正型は818:1293:1495:1703:1923と最短で202年間隔、元禄型は最短で500年間隔という説もあり、いずれをとっても再来は少なくとも100年ほど先になる説が有力です。

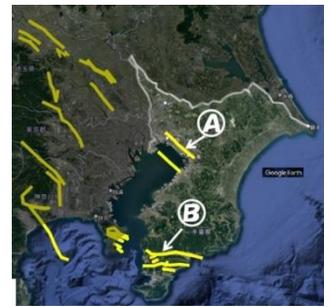
ただ、そうはいつでも心配なのが元禄型の房総半島の沈降(空白域1)が9mと相当歪みが溜まっていることと元禄型地震の東側(空白域2)に割れ残りがある可能性です。(画4) 空白域はM8クラスの可能性があります、引きずられて元禄型も連動する可能性も否定できないようなのです。

7. 首都圏直下地震と過去の傾向

関東大震災の前の江戸・東京の地震というと1855年安政江戸地震、1894年明治東京地震、1909年房総半島などが発生しています。単純に前兆的と考えれば70数年前からM7クラスが起きているとも考えられ、その前の元禄大地震でも同様に発生する80年ほど前からM7前後の地震が発生しているのです。首都圏直



画4 関東の大震災



画5 関東の主な活断層

下地震の主な原因は活断層ですが、その周期は千年以上ですから、単純に前兆地震とは言えませんが少なくとも何らかの関係を全く否定できないことを考慮すれば、2050年頃からM7前後の地震が起き始めるとも言えなくもないのです。しかし、神奈川西部地震だけは、100年と周期を30年ほど過ぎているとも思えば可能性はありますし、もう一つ可能性のある場所もあり注意が必要です。詳しくは次回解説します。

8. 関東平野と千葉の活断層

関東平野の活断層は画5ですが、関東ローム層と呼ばれている噴火由来の厚い層に覆われていて多くは見つかっていないのですが、西北から東南方向に沿って存在しています。東西で北米プレートと太平洋プレートがぶつかっている南からフィリピン海プレートが割り込んでいる結果、この方向で動くことを考えると、学校やマンションなど東西に細長い建物を切り裂く方向なので耐震的には弱点になる可能性があるため建物の耐震性にプラスして家具などの配置や固定も注意が必要です。

その中で千葉県にある活断層群は大きくは、3組?・・・千葉市から船橋市と並行して東京湾内、そして、南房総に想定されています。それぞれの活断層は長さ30±km=M7クラスと言われており、また、どの断層も単体ではなく帯上に沿って存在していることは怖いことかもしれません。例えば、千葉県南部から神奈川県三浦半島にかけてなど動きについて注意が必要ですが数千年の周期では発生予測は難しいといえます。

9. 千葉で消えた活断層？

そんな中活断層で驚いた情報がありました。と言うのは活断層が消えた?のです。正確に言えば全国98の活断層帯に選ばれていた画5のA[東京湾北縁断層]とB「鴨川低地断層帯」が「調査の結果、推定されていた位置を含め調査した範囲内には活断層は確認されなかった」という報告です。東京湾北縁断層は市川市、船橋市、千葉市にかけて専ら断層帯で地震発生となれば相当な被害が予想されていましたし、鴨川低地断層帯は房総半島南部に東西に存在しその延長には三浦半島も絡むので地震発生では広範囲に影響がと心配されていた活断層だからです。どちらも被害甚大な可能性があった中での発表はまさに喜べる大きなニュースです。

※続きは、次回掲載！

インバウンド需要にどう対応していくか

長夷支部 君塚 正芳 支部長

「8月10日、中国政府が日本への団体旅行を解禁」・・・本寄稿の締め切りを迎える中で飛び込んできたビッグニュースだ。早くも10月頃の解禁を見込んでいたインバウンド関連企業（旅行会社・航空会社・宿泊業者など）にとっては大きなビジネスチャンスであり、歓迎ムード一色の様相を呈している。

コロナ前の訪日観光客の主役は、間違いなく中国人観光客であった。「爆買い」に代表されるように、その経済波及効果も大きかっただろう。それが新型コロナの感染拡大で途絶え、コロナ禍が沈静化した後でも他の国々（欧米や中国以外のアジア諸国）からの訪日観光客回復に比べると中国人観光客は限定的であった。コロナの水際対策が緩和された昨秋以降、歴史的な円安市況も手伝って、多くの外国人観光客で日本は溢れてきている。全国各地で再開されたイベント等でも、外国人観光客が楽しむ様子が数多く報道されている。ここに中国からの団体旅行客が加わるのだから、インバウンド需要が再沸することに疑念はないだろう。

そんな折、旅行会社に勤める知人から相談を持ち掛けられた。今後のインバウンド需要の拡大を地方へ波及させるため、何か出来ることはないかというものだ。確かにこれまでの訪日観光と言えば、ゴールデンルートと呼ばれる「東京・箱根・富士山・名古屋・京都・大阪」が中心であったが、最近の訪日観光ではリピー

ターが増えれば増えるほど地方に足を延ばす傾向が見て取れる。ゴールデンルートにはない、それぞれの地域に残る日本文化を体験できることが人気のようだ。

特別な観光資源のない地域でも日本文化を体験できる体制を整えば、多少なりともインバウンドニーズに答えられるのではないかとの思いで、この秋に実施するモニターツアーへ協力することになった。将来的には郷土料理や農漁村体験なども盛り込んだよりディープなコンテンツを醸成したいが、今回は①寺カフェを始めたお寺での「座禅&写経」②日本太鼓ジュニアコンクール千葉県大会12連覇チームによる「和太鼓体験」③SAMURAI気分での「居合道体験」とした。どうぞご期待あれ！



令和5年度 青年委員会第1回勉強会を開催！！

当協会青年委員会では令和5年8月23日（水）に第1回勉強会を千葉市文化センター（千葉県千葉市中央区中央2-5-1）にて開催しました。講師は鳥飼三津男税理士事務所の鳥飼三津男氏であり、「決算書の見方と自社株の簡単な評価の仕方」が演題でした。

今回の勉強会で注目すべき話が2点ありました。

1つ目、減価償却についてです。このお話しの中でも特に興味深かったのは、借入金で1億円の機械を購入して5年間で返済をする場合、「赤字にならないければ、1円の利益を上げずに、返済可能」という部分でした。5年間で1億円を返金するためには1年ごとに2,000万円が必要となります。この金額を現金での支出が伴わない減価償却として計上することで、利益計算上は2,000万円がマイナスとなりますが、収支差額計算上はマイナスされず、減価償却とした2,000万円は返済に廻すことができます。これを5年間繰

(単位：万円)	
収益（収入）	20,000
費用（支出）	18,000
減価償却 (現金支出なし)	2,000
利益	0
収支差額	2,000

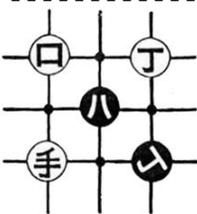
り返すことで、「5年間1円の黒字を出すことなく、1億円の返済は可能」ということでした。

2つ目は借入金についてです。この話の中で出てきた「借入するというのは、将来のお金をタイムマシンに載せて現在に運んでくることであり、そのタイムマシンの使用料が支払利息になる」という説明は大変分かりやすく、目から鱗でした。つまり借入金を返済不能に陥ってしまう人というのは、上記例えにあるタイムマシンに載せるお金を貯金できない人ということです。

今回の内容は企業経営をするにあたっては当たり前の知識かも知れませんが、しかしそれを真に理解している経営者は多くはありません。その知識を専門家からわかりやすく解説いただいたこの勉強会は貴重で得難い機会でありました。これから社を率いていく青年委員だからこそ、今後の糧となる良いお話しでした。



【講師：鳥飼三津男様】



十三夜についてふれてみましょう。

十五夜は中国伝来の風習であるのに対して、十三夜は日本で始まった風習で、十五夜では月の神様に豊作をねがいます。十三夜は、稲作の収穫を終える地域も多いことから、秋の収穫感謝しな

がら、美しい月を愛でるのです。この時代は、月の満ち欠けをもちいて暦を計算しました。生活と月は密接につながっていました。十三夜のお月見の始まりは平安時代に醍醐天皇が月見の宴で詩歌を楽しんだのが始まりではないかという説が代表的です。お月見団子の並べ方は下段に3×3の9個を、上段2×2の4個を積みます。

ススキは稲穂の代用品になりましたが災いや病から作物や家を守ってくれる魔除の力があると信じられて来ました。今年は10月27日が十三夜となります。皆様も日々忙しくされていると思います。この日は月を愛でて過ごして見てはいかがでしょうか。

吉野 和弘 記

空家の充てん容器は必ず撤去しましょう！